2026 年 10 月 1 日
株式会社　宇徳

日刊工業新聞「KOSEN 最前線 2026」に当社社員が掲載されました

2026 年 10 月 1 日付日刊工業新聞の「KOSEN 最前線 2026」において、当社で活躍する社員が紹介されました。記事では、それぞれの業務内容や高専での学びを活かした仕事への取り組み、将来の目標などについて語っています。
当社にご興味をお持ちの方は、ぜひ一度、お問合せいただけましたら幸いです。たくさんの学生のみなさまからのお問合せをお待ちしております。
当社グループは今後も、人材育成を通じて社会と物流を支える企業グループを目指してまいります。

日刊工業新聞

年月日	26	10	01	ページ	19	NO.	

宇徳

船と陸をつなぐ

港湾企画管理室　**時安　利成**さん

2004年に入社以来、約15年間フォアマンとして、車両船や在来船の現場管理に携わり、港湾現場の最前線で安全かつ効率的な作業に取り組んできました。その後は貨物積み付けプランの作成や荷役立ち会い、安全な航海ルートの選定など船舶の安全運航を支える海務監督をはじめ、上屋の入出庫・保税管理や営業業務など幅広い業務を経験しました。

宇徳は港湾・物流・プラントの三つの事業を展開しています。港湾事業を通して船と陸をつなぎ、日本の暮らしや産業を支える仕事にやりがいを感じます。

現在は、出向先の宇徳トランスネットで安全衛生管理室長を務めています。これまでの経験・知識を生かして、完全管理の面から現場を支える立場です。

当社には、高専で学んだ知識や技術を生かし、実務を通して成長できる環境に魅力を感じて入社しました。学生時代に育んだ自律心や協調性、責任感は、社会人として新たな課題に挑戦する力になっています。皆さんも失敗を恐れず、好奇心を持って多くのことに挑戦し、自分自身の可能性を広げてほしいです。

（広島商船高等専門学校卒）　船

水際から船支える

港運部
有明ターミナルチーム　**広浜　綾乃**さん

2017年に入社し、コンテナ輸出入の保税業務に携わったあと、内航RORO船のフォアマンとして現場に立っていました。5月に産休・育休から復帰して、現在は港運部でコンテナへの貨物の積み込み・荷降ろし作業や配送の手続きなど、船積み貨物の輸送業務を担当しています。

高専では船乗りになるための勉強をしましたが、結婚や出産などのライフイベントも経験したかったので、陸上職でキャリアを築こうと考えました。

インターンシップで見た宇徳のコンテナターミナルが印象的で、先輩たちも働いている当社に入社を決めました。福利厚生がしっかりしている点も決め手の一つです。

当社では日々さまざまな業務が遂行されます。港の仕事は一人で完結できることはほとんどありません。いろいろな人と連携しながら、安全かつ円滑に業務を進めます。船が無事に出港した時やお客さまの要望に応えられた時は、達成感があります。船に乗ることだけが全てではなく、私のように水際から船を支えて、陸だからこそできることがたくさんあると思います。

（富山高等専門学校卒）　船

無断転載・複写禁止©㈱日刊工業新聞社

※株式会社日刊工業新聞社の許諾を得て掲載しています

【お問合わせ先】
株式会社宇徳　総務部
秘書・広報チーム　TEL：045-201-6600

【採用担当】
人事部　人事チーム　TEL：045-201-6582
当社採用ホームページはこちら